

近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
資 料 配 布

配 布 日 時	平成19年7月24日(火) 11時00分
------------	-------------------------

件 名	真名川ダム湖内での水面変色について (第2報)
-----	----------------------------

概 要	●水面変色の原因は、緑藻綱のパンドリナ属であることを確認しました。
-----	-----------------------------------

取 扱	—————
-----	-------

配布場所	福井県県政記者クラブ 大野市 情報広報課
------	-------------------------

お問い合わせ先

近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所  
管理係長 桂木 英一 (内線332)  
電話 0779-(66)5300 (代)

## 真名川ダム湖内での水面変色について

○ 7月20日15時頃、真名川ダム管理支所職員が、ダム湖の巡視中に発見した、水面の緑変色の原因が判明しました。

○ 緑変色の原因は(社)近畿建設協会による分析の結果、<sup>りょくそうもう</sup>緑藻綱のパンドリナ属 *Pandorina morum* でした。

「パンドリナ モルム」は世界各地の池沼、水田等に出現するが、とくに富栄養化の徴候がはっきりと現れはじめたβ-中腐水性水域でよく発生します。

*P. morum* は16または8個の細胞が互いに密着して立体的に配列された卵形から球形の群体を形成しているのが特徴です。群体は透明の寒天質で覆われており、長さは最大で50~60μmです。細胞は卵形からくさび形で、直径は最大で15~20μm、2本の鞭毛をもち、葉緑体は1個でカップ状、1個の眼点と1個のピレノイドを底部にもちます。

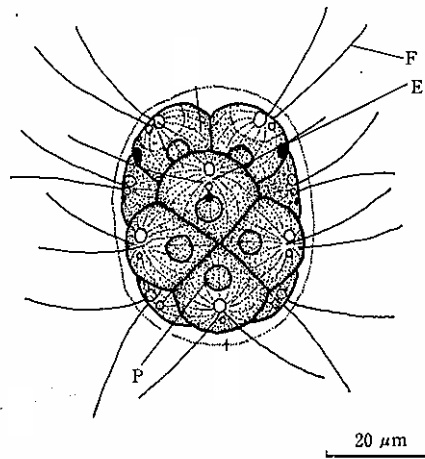
*P. morum* が魚類へ被害を与えた記録は見当たらず、有毒種でもありませんが、大量に発生すると水が緑色に変わり、同時に生ぐさい臭いを発するようになります。

又、同協会によると、この種は人体や生物、魚類等への影響を与えるものではないとの見解です。

○ なお、本日午前9時頃に巡視を行いましたが、緑変色の発生は確認しておりません。



緑藻綱のパンドリナ属 顕微鏡写真



*Pandorina morum*

(環境微生物図鑑より)

<用語について>

- 鞭毛 (F)  
遊泳性の種が持つ運動性の細胞小器官。
- 眼点 (E)  
眼点を持つ種はいずれも正の走光性を示すことから、光の受容器であると考えられる。
- ピレノイド (P)  
葉緑体の中にあり球形に見える。デンプンの形成と貯蔵に関与していると考えられる。